

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月26日

事業所名 リライト

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	1	活動ができるスペースを広く確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	4	0	0	適切に配置できている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0	1	出入り口のチャイム、階段の手すり、棚など。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	各個人目標やデイでの学習など目標を定め支援している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	1	出入り口に立て看板をして公開。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0	2		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	1	毎月テーマを決めて、支援の質の向上や虐待防止などの研修を設けている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	職員間で情報をしっかり共有し、支援計画に携わっている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	1	個々に合わせアセスメントを行っている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	1	職員同士で案を出し合い計画を立てている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	毎年同じレクリエーションもあるが、新しいものを取り入れたり、地域や公共施設でのイベントに	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	0	長期休暇では利用時間も長く計画的に支援を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	児童のニーズに合わせて個別活動を行い、集団での支援も行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	支援内容の共有や注意事項の共有を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	その日の活動を報告し合い、児童の細かな様子も記録している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	その日の活動を報告し合い、児童の細かな様子も記録している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	必要に応じてモニタリングを行い、支援の方向性と現状に相違がないかを確認している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	支援を組み合わせで行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0	児童の状況に精通した最もふさわしいものが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	0	送迎時に行ったり、電話で確認したりして支援や環境の把握に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	0	1	現在医療的ケアの必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	0	支援会議などを通して、情報共有し、相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	0	現在において、そのような児童はいないものの、作業所などのつながりを作り、就職先を探す協力ができるように態勢を整えている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	1	内部研修に力を入れているので、外部研修はあまり参加できていないが今後、積極的に参加していく予定。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	0	1	地域の方との交流会を主催し、地域の子ども達との関わりを持っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	1	参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	0	日々の様子を記録し保護者に伝えている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0	1	保護者会を行い、年に数回は講師の方をお呼びし、保護者への講演を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0	契約時に書類を一緒に読みながら説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	1	保護者からの相談に応じて適宜行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	0	保護者同士の関わりは支援しているもののなかなかつながることがない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	迅速に対応するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	毎月の案内を保護者にSNSで送信している。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	十分に注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	わかりやすい言葉で簡潔に伝えるように努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	4	0	0	地域の方と餅つきや福祉についてのお話会を行っている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	0	職員研修もかねて毎年情報を更新している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	職員研修もかねて毎年情報を更新している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	1	職員研修もかねて毎年情報を更新している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	1	研修でどのような場合に身体拘束を行うかを伝え、虐待に発展しかねない行動は職員同士で声を掛け合うようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0	アレルギーの聞き取りを行い、対象の食品に関しては渡さないように配慮している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	事例ごとに職員が作成し、会議で共有している。	